

各位

2017年9月1日

## いきもの系創作・交流イベント「いきもにあ2017」開催！

いきもにあ実行委員会は、来る2017年11月11日（土）12日（日）、京都市勧業館みやこめっせにおいて、いきもの系創作交流イベント「いきもにあ2017」を開催いたします。

「いきもにあ」は、いきものをテーマにした作品をつくるアーティスト、生物研究者など、あらゆる”いきもの好き”を一同に集め、作家オリジナルのグッズや作品をブース形式で展示・販売、研究の発表を行います。2015年に開催し好評を博した第1回（出展者：約160ブース、来場者3,400名）に続き、今回は同じ会場で第2回目の開催です。

「かわいい」だけじゃない、知的好奇心くすぐる”いきもの”の魅力を伝え、楽しむイベントを目指します。

（出展者公募は7月に終了・応募総数約300組）

### ●150ブースを超える、“いきもの”モチーフ作品の展示販売。

微生物や昆虫、深海生物、古生物…。動物園の人気者から多くの人が見たことのないマニアックな種まで、生物のジャンルに制限はありません。全てに共通するのは、対象となる生物種への愛と探究心。ドローイング作品からフィギュアなどの立体作品など、表現方法も様々。

アクセサリー、ステーショナリーなどのグッズ販売や、標本や博物図のなど、バラエティに富んだブースが出展します。

### ●生物研究者による講演会。

生物研究者による一般向けの講演会も開催、生物のディープな世界へ興味や親しみを深めるきっかけとなる場を提供します。ライトな生物ファン層へのアウトリーチ活動の機会として、研究者にも注目されております。またアーティストと専門家が出会うことにより、新たなアイデアやより深い表現が生まれる場としても期待されています。

### ●博物館や教育機関からの出展も！

また、博物館等で教育普及に携わるNPO法人や、生物をテーマにした作品を制作している芸術大学のプロジェクトなど、博物館や教育機関からの出展もあり、教育普及の場としてもご利用いただいております。

●会期 2017年11月11日（土） 11:00～17:00  
11月12日（日） 10:00～16:00

●会場 京都市勧業館みやこめっせ 地下1階 第1展示場（1,480㎡）  
京都府京都市左京区岡崎成勝寺9-1

●料金 当日券...500円（1日のみ。当日のみ再入場可）  
前売り券...900円（2日間通し。再入場可）  
チケットぴあ Pコード：991335  
※小学生以下無料

●会場までの地図



## ●講演

・11日（開場時間:11:00～17:00）

12:30～13:15 荻野慎諧「妖怪古生物学への誘い」

14:00～14:45 椎野勇太「やるきの無さが成功の秘訣！？腕足動物の無気力で巧みな機能戦略」

15:30～16:30 クマムシの味って？（仮）（堀川さん、蟲クロトワさん）

・12日（開場時間:10:00～16:00）

11:00～11:45 片山なつ「川苔草にまつわるエトセトラ」

13:00～14:45 増井真那「フシギでカワイイ変形菌」

14:30～15:15 林亮太「ウミガメ・クジラに付くフジツボたちのはなし」

## ●各講演要旨

▶11日（土）12:30～／荻野慎諧（古生物研究者）

妖怪古生物学者（理博）。現在は兵庫県丹波市で、恐竜をいかしたまちおこしを行う。  
本当の専門は、哺乳類の食肉類化石の研究。イタチやクマ、レッサーパンダなど。  
近著（共著）「荒俣宏妖怪探偵団ニッポン見聞録」

（講演タイトル）「妖怪古生物学への誘い」

「科学」という言葉が輸入される以前、見たこともない不思議ないきものに出会った人々は、驚きながらも真正面から向き合っていました。

その成果は、書物というかたちで残され、私たちは今でも触れることができます。

彼らの出会った珍しいいきものは、現在では荒唐無稽なものと考えられているものも数多くあります。

しかし、あるがままをじっくり観察して、見たまま正確に書きとどめたものもたくさんあるはずで、

それは現代の科学のまなざしと変わりはありません。

だとしたらどうでしょう。

出会った妖怪や化け物が、「いる」という前提でしっかり記載された書物を読みなおすと、もしかすると今ならば正体分かるかもしれません。

今では絶滅しているいきものも、分布域が異なっているいきものも、もしかしたら記載されていたかもしれません。

そんな見方からはじまったのが妖怪古生物学です。

去年あたりからちょっと有名になった「ぬえ」という不思議ないきものを例に「ぬえ＝大型○○」説の提唱者が、どう解釈を進めていったのかお話しします。

▶11日14:00～／椎野勇太（腕足動物研究者）

絶滅生物の奇妙な形に興味を持ち、初めて調査した山で大量に採集できた化石腕足動物の研究に熱中している。最近、三葉虫や放射虫の形を題材にした研究や、現生腕足動物の飼育実験にも挑戦中。

（講演タイトル）「やるきの無さが成功の秘訣！？腕足動物の無気力で巧みな機能戦略」

「腕足動物って貝なの？あ！カメノテの仲間でしょ！」

いいえ、どちらも違います。貝に似て非なるものです。現在の海洋には、330種ほどしか生きていないため、海で見かける貝のような生物は、たいてい二枚貝です。

ところが、およそ5.4億年前～2.5億年前の古生代と呼ばれる時代には、今の二枚貝が占めている多くの生態的な地位は腕足動物のものであり、「腕足動物の海」と言われるほど成功を収めた栄光がありました。この繁栄を後押しした原動力は何だったのでしょうか？なぜ、今では二枚貝に競り負けているのでしょうか？これまでの研究で見えてきた、腕足動物の殻形態が備えた生態的な特性と、進化多様性に関する知見を紹介します。

▶12日（日）11:00～／片山なつ（カワゴケソウ研究者）

大学3年のとき、カワゴケソウという不思議な形をもつ植物を知り、その虜に。

以来、卒業研究から博士号取得、その後のポスドクまで約10年間カワゴケソウの形態進化の研究を続けている。

現在、育児休業中。気分転換に趣味の「伝わるデザイン」の活動を活発化している。

（講演タイトル）「川苔草にまつわるエトセトラ」

カワゴケソウ。日本には九州南部にしか生育していないあまり馴染みのない植物である。漢字では「川苔草」と書くことからわかるとおり、川に生えている苔のような草、つまり、その見た目は相当地味だ。草なので草本類、つまり被子植物であるため、れっきとした花を咲かせるが、やはりその花も地味。それでもカワゴケソウは長年世界の植物学者を魅了し、研究が続けられてきた。なぜなのか。今日はその話をしたい。

▶12日（日）13:00～／増井真那

東京都立小石川中等教育学校4年（高校1年生）。変形菌（粘菌）の行動や自他認識に関する研究を10年間続けている。近刊『世界は変形菌でいっぱいだ』（朝日出版社）は初の著作。

（講演タイトル）「フシギでカワイイ変形菌」

変形菌（粘菌）は動物でも植物でもなく、「菌」とつくのに菌類でもない、フシギでカワイイ生きものです。ぼくは5歳で変形菌に出会い、6歳から10年間、変形菌の変形体（栄養をとり動き回る）といっしょに暮らしてきたので、もう「うちの子たち」がいない生活は想像できません。この10年間の研究で変形体についてたくさんの発見をし、ぼく自身の世界も大きく広がりました。今回は、変形菌はどんな生物なのかから始まり、ぼくが見出した変形体たちの行動のおもしろさ、それに自己と非自己を見分けるすごい力についてお話しします。

▶12日（日）14:30～／林亮太

日本工営株式会社 中央研究所 所属。

（講演タイトル）「ウミガメ・クジラに付くフジツボたちのはなし」

『品川の 沖に止まりし せみ鯨 みなみんなと 飛んでくるなり』（寛政の鯨）

日本で初めてのホエールウォッチングの様子が狂歌で詠まれたように、クジラなどの大型海棲生物は古くから人々の憧れであり興味の対象となってきました。テレビ番組などで見る機会の多いクジラやウミガメ類を代表とするこれらの大型海棲動物には、特異的に付着するフジツボ類がいることが知られています。この講演では、これらのフジツボ類（オニフジツボ超科）の実際の標本を手元で観察しながら、これまでの研究で明らかになってきた生活史や進化の歴史について紹介します。

つながる  
ひろがる  
たようせい



# いきもにあ 2017

硝子工房YUKI

作品やグッズの展示・販売  
研究の発表などを行います。  
「かわいい」だけじゃない  
知的好奇心くすぐる  
“いきもの”の魅力を知ろう! 楽しもう!!

いきものテーマの作品をつくる  
アーティスト、生物研究者など  
あらゆる“いきもの”好きが  
この秋ふたたび  
京都に  
大集合!

あまのじゃく(とへてまかひ)

とき 2017年 11月11日(土) 12日(日) 11日 11:00~17:00 12日 10:00~16:00

場所 京都市勧業館『みやこめっせ』第1展示場(地下1階)

入場料 当日券: 500円(1日のみ・当日のみ再入場可) 前売り券: 900円(2日間通し・再入場可) ※小学生以下無料



## 生きものグッズを たくさんゲット!

出展ブースは  
なんと  
160以上!!

ミクロな生きもの、海にすむ生きもの、陸にすむ生きもの、大昔の生きもの、あらゆるジャンルの生きものグッズが大集合!



LaMahina



ツクツクぼうし



アトリエpuchoco



カエル工房



molly's



サイ◇コロ



## 作品や研究の展示もあるよ 出展者とお話してみよう!

リアルな生きものフィギュアの展示や研究の発表など、生きものに関する「ナルホド!」や「しんはっけん!」が見つかるかも。



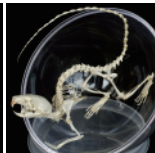
マンボウなんでも博物館



ピンセットこれくしょん



かえるの骨 とりの骨



※実際の出品物と異なることがあります。各作品画像の著作権は、各出展者に帰属します。

## 生きものハカセによる 講演も開催!

聴講無料  
(入場料は必要)



ふだん聴くことのできない、面白くてためになるハカセたちのお話を聴こう! もっと生きものが好きになるはず!

前回開催時の様子です



### 11日(土)

- 1部 12:30 妖怪古生物学への誘い  
13:15 荻野 慎諧 (妖怪古生物学者)
- 2部 14:00 やるきの無さが成功の秘訣!?  
14:45 腕足動物の無気力で巧みな機能戦略  
椎野 勇太 (腕足動物研究者)

### 12日(日)

- 1部 11:00 川苔草にまつわるエトセトラ  
11:45 片山 なつ (カワゴケソウ研究者)
- 2部 13:00 フシギでカワイイ変形菌  
13:45 増井 真那 (変形菌研究者)
- 3部 14:30 ウミガメ・クジラに付く  
15:15 フジツボたちのはなし  
林 亮太 (フジツボ研究者)

(敬称略)

# equimonia 2017

equimonia.jimdo.com

@equimonia

#いきもにあ  
でつぶやいてね

入場料

【当日券】500円

1日のみ・当日のみ再入場可

小学生以下のお子様は  
両日とも<入場無料>です

【前売り券】900円

2日間通し・期間中再入場可

10/1(日)10:00より **チケットぴあ**にて販売開始

<Pコード:991335>

**会場** 京都市勧業館『みやこめっせ』第一展示場(地下1階)  
〒606-8343 京都府京都市 左京区岡崎成勝寺町9-1  
TEL:075-762-2630(代表) FAX:075-751-1655  
http://www.miyakomesse.jp/

**アクセス** 【地下鉄】  
東西線「東山駅」より  
徒歩約8分

【バス】各線京都駅から  
●市バス5・100系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車  
●市バス206系統 東山通り・北大路バスターミナル行き  
「東山二条・岡崎公園口」下車

みやこめっせのHPで  
詳しいアクセスや  
出口1からの道順を  
画像で確認できます



※当日はなるべく公共交通機関をご利用のうえお越しください